



公益社団法人芦屋市シルバー人材センター

はつらつ 芦屋

設立35周年記念号!

2023・1

No.35



ホームページアドレス <http://www.sjc.ne.jp/ashiya/>

芦屋市シルバー

検索



TEL 0797-32-1414 FAX 0797-31-9223

中央公園 樹名「思いのまま」
撮影 仲井 純子(会員番号2936)

シルバーフェスティバル

芦屋市シルバー人材センター設立35周年記念事業として、「第4回シルバーフェスティバル」が10月29日、開催されました。

はつらつ館の南側道路を歩行者天国とし、5つのブースを設置。好天に恵まれる中、来場者の出足は好調でした。三田&養父市のシルバーの野菜市には多くの人が詰めかけ午前中にはほぼ完売の人気でした。お昼近くになると長い行列ができた明石市シルバーの明石焼きの販売。「おいしいね」と大人も子どもも笑顔の輪が広がり、13時には売

り切れるほど好評でした。

輪投げ、ダーツ、バルーンアートにソフト金魚すくいとチビっ子たちの遊び場も設け、あちこちで歓声が上がっていました。

館内2階では絵画や写真に工芸品、絵手紙など力作が並んだ作品展示をはじめ、将棋・囲碁コーナー、石ころアートや塗り絵を楽しむ手作りスペースがあり、親子でにぎわいました。1階のバザー会場では多くの入場者があり、売り上げは芦屋市の子ども・子育て支援基金に寄附しました。



ソフト金魚すくい



子どもの遊び場



バルーンアート



親子で楽しむ手作りコーナー

子どもたちも笑顔「楽しいね！」

もちつきに歓声「ヨイショ！」

「よいしょ、よいしょ」の掛け声が会場内にこだました。目玉イベントの一つ「餅つき」が養父市シルバートの皆さんのご協力の下、午前と午後の2回にわたり実演。午前の部には100人以上が見守る中、伊藤舞市長も飛び入り参加、杵を何度も振るい、大いに盛り上げてくださいました。子どもたちも餅つき体験を楽しみ、出来上がった餅はぜんざいにして、会場に詰め掛けた皆さんにふるまいました。



ぜんざいふるまいに行列



作品展示コーナー



チャリティーバザー



山中理事長と伊藤市長



手作り作品販売



小物作品販売



囲碁・将棋コーナー



明石焼き



クッキー販売 山の子会



野菜市&新米市

会 員 作 品 展

フェスティバルと同時にはつらつ館2階で会員作品展が開催されました。日本画、水彩画、書、写真、掛軸、陶芸、工芸、絵手紙、版画など35点の多様、多彩な作品が展示されました。そのうち了解いただいた方々の作品を掲載しています。



押し花「アイガーを望む」
中村節子（会員番号2015）



日本画「天空の湿原・夏」
神吉行彦（会員番号1916）



書「百花繚乱」
末友 茂（書道教室生徒）



水彩画「わかれの装い」
森 信行（会員番号2241）



水彩画「花と果物」
前田 穰（会員番号1488）



写真「目指せ！なでしこ」
山中 健（会員番号3278）



写真「湾岸道路の月」
熊谷繁美（会員番号2315）



写真「爽やかな風」
三木宏之（会員番号3254）



写真「清流」
川上裕功（会員番号848）



写真「三宮そごうの遺構」
黒住敬一郎（会員番号1653）



写真「ストライプ」
浪川研吉（会員番号1796）



掛軸「桜浄土」
渡邊雄一
(会員番号33664)



陶芸「夢見る滝が如く」
上野邦彦 (会員番号2717)



焼き絵「沙羅双樹」
大瀬良稔子 (会員番号33351)



オブジェ「ダチヨウのたまご」
坂本幸代 (会員番号32900)



絵手紙「絵手紙教室生徒作品その1」
田中順子・直井喜和子・中里妙子
山本富子・中村時子



絵手紙「絵手紙教室生徒作品その2」
一本哲郎・西岡千恵子
金子正子・酒井悠希



版画「お正月」
吉崎正俊 (会員番号1777)

似顔絵



森 英恵さん



アントニオ猪木さん



村上 宗隆さん

チヨウの模様等 崇高なデザインで世界への道を切り開いたファッションデザイナー 森英恵さん(89) 8月逝去

「燃える闘魂」のキャッチフレーズで人気を集め 参議院議員も務めた元プロレスラーのアントニオ猪木さん(79) 10月逝去

プロ野球東京ヤクルトスワローズの村上宗隆内野手(22) 打撃部門で史上8人目の「三冠王」を獲得

澤田 邦洋 (会員番号20008)

紀行☆寄稿☆奇行?

「六甲山はいいねえ」

神野 国昭 (会員番号1692)

私が山登りを始めて早62年が過ぎました。最初に登った山は六甲山です。阪急芦屋川から大谷茶屋をへて、ロックガーデンを通り雨ヶ峠へ、雨ヶ峠から住吉川出合まで歩き、少し下ると七曲りの登り口に着きます。七曲りはきびしい登りで息を切らせながら一歩、また一歩、一軒茶屋にたどり着き、そこで一休み。息をととのえて山頂へ、そこからの景色は、遠くは日本海まで見渡せてすばらしいものでした。

それから数年後、塩屋から宝塚までテントと寝袋をかつぎ1泊2日で東西六甲縦走の長丁場に挑戦しました。今は塩屋から須磨までは住宅街になっていたので塩屋から宝塚にいたる縦走をする人は、ほとんどいないそうです。六甲山南側に位置する芦屋川から北側に位置する有馬までは魚屋道(とみやみち)を通って入りま

す。有馬は全国でも有名な温泉街なので、ゆっくり湯につかり、その後近くの飲み屋でいっぱいやる酒は至福の時です。

山登りに「カンバイ」
2009年信州大学山岳部60周年記念ヒマラヤ遠征登山に参加しネパールより帰国後、芦屋シルバ

人材センターで剪定の仕事を申し込み、後日ある庭を見学させてもらった折り、そこらみことな六甲山が見えたので、剪定の仕事をすることに決めました。いろいろな家で剪定をさせてもらっていると、荒地山がすぐ近くに見えます。荒地山は六甲山系にある一つの山です。550mにみ



ヒマラヤでの一枚

たない小さな山ですが、水と緑のゆたかな山です。特に荒地山の水は独特のかすかな甘みがあり、六甲山系で私にとって最高の部類の水の一つに入ります。私は芦屋市で各家庭の庭で剪定をさせてもらいながら六甲を楽しませてもらっています。このことが私の心身の健康のささえとなっております。

六甲と剪定の出会い、このすばらしいさに感謝せずにはおれませ



六甲山の片隅で

ワーク・ア・ラ・カルト

「たかが水やり、されど水やり」

鈴谷 修二 (会員番号 3524)

会員になつて三つ目の仕事となったのは「市内花壇灌水業務委託」である。7月中旬から10月中旬までの88日間のうち30回、指定された6か

所に週3回午前中に水をやるというのが基本的な決まり。雨天の日もあつたりつやるかは会員に一任されている。いろいろ条件はあるものの、公園の樹木や花壇に水をやるという簡単な作業だと思ひ二つ返事で引き受けることにした。

前任者に現地を案内していただき「水やりの日は自分のペースで計画すればいい、とにかく水をたっぷりやってや」と聞かされた。

初回は7時30分からスタートした。通勤通学用の送迎バスの停車場が近くバス待ちの人が多く、水がかからないか神経をつかう。散水栓から離れた所はホースが長く通行人の邪魔になつてないか気になる。たっぷりやるというのはわかるけど、どれだけがたっぷり？ ラッシュを避け以降は6時40分スタートとしたが、楽勝と思つていた水やりは手ごわい。



業平公園にて

5回目が終わつた午後、「花壇にはもっと多めにやってください」と指導の電話があり、すぐに現地に行つてみると花壇の地面が濡れていた。後で分かつたことだが街路樹課の方が追加されたとのこと。6回目の水やりをやっていると街路樹課の方が来られ、「花壇は花の根元に水が溜まるくらいやって」など実演を交えノウハウを教わつた。ありがたかつた。教えを守り7回目以降は毎回すべてが終わつたとき満足感で胸が熱くなつた。通行の方々から「きれいに咲いてるわねー、おつかれさま」「ちゃんと水やってくれてるんですね、ありがたうございませう」などお声をいただくこともしばしばあつた。またブルーの花に水をやってると心地よい香りが漂ひ癒された。今や樹木や花が可愛くてしょうがない！もしかして水やりで私の人生観が変わつたかもしれない。素晴らしい仕事に巡り合わせていただきありがとうございます。

芦屋市役所で活動紹介パネル展を開催！

今回のキャッチコピーは「シルバーってええとこやなー」、9月9日から9月22日まで、芦屋市福祉部高齢介護課のご協力をいただき「活動紹介パネル展」を開催しました。会場は市役所北館1階に入りすぐ左側の展示会場です。9日間の開催で23名が来場されました。(前回開催よりも1日当たり1.3名増)

皆さん、写真で就業、活動の雰囲気、また楽しそうな同好会の内容などご覧いただき「いろんな仕事をして楽しそうだ」、「もう仕事はないと諦めていたがやる気が出てきた」、「何か出来る仕事があればやってみたい」など積極的なコメントもあり、また当日の担当者にとさらに細かい相談をされている姿が印象的でした。

今回のこのようなパネル展が市民の皆様にもシルバー人材センターを知っていただくチャンスとなり、ひとりでも多くの方々が私達の仲間になつていただきますように。

広報啓発委員会

入部 兼昭(会員番号2804)



喜寿を過ぎたこの歳で、元気なのは芦屋シルバー人材センターとの出会いかもと考える。

昭和の企業戦士の時代には、人の役に立つ研究や開発や営業に携わり、全国を走り回り、仕事も楽しく充実していたが、いつもピリピリ（酒飲み・ゴルフ・麻雀も）しており、正に戦いの日々だった。

現在は、心穏やかな時間の中で見付けたのは家事援助や清掃の就業。皆から「ありがとう」「感謝です」の言葉や表現が元気の秘訣と言える。お年寄りのお家を訪問し、台所・トイレ・風呂・ガラス磨き・掃除機かけ・床拭きなど家事の清掃を行なう。

終えた後には笑顔の「ありがとう」の言葉。世間話には、それぞれ80・90・100歳代を経て来た貴重な人生話が聴け、生き方や

元気の秘訣

ありがとうが元気の源

福井 克行会員の巻
(会員番号1662)



経験談など小生にとつては、知恵袋となつている。又、長生きの秘訣をお聞きすると、良く食べ、良く歩く、寝る以外は椅子かソファ生活、細見体形、朗らかでいつも笑顔、とにかく優しい。

図書館庭園の清掃では、散歩や通学・通勤の人達から「綺麗にして頂いてありがとう」「ごくろうさま」と声を掛けられる。小さな子供達との交流や「おはよう」の挨拶などで心が温まり元気になる。

現在、ゆったりとした気持ちや可愛い孫たちと過ごす時間、旨い食べ物、社会貢献での満足感で幸せを感じているものの、歳なのか若い頃に比べ夜更かしも出来ず早寝、朝5時には目覚める。時間はたっぷりあるはずなのにあつと言う間に夜、1カ月も1年も早過ぎるのが悩みです。

ばあばへ



なつ休みは、おいしいごはんを作ってくれてありがとう

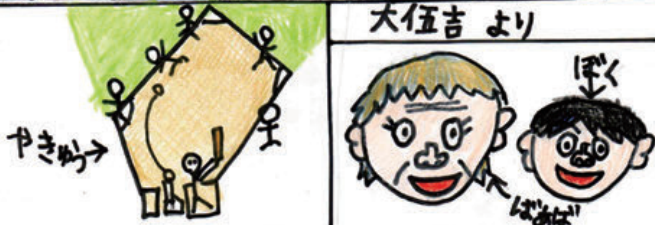
ぼくは今、じいじとばあばが買ってくれた

グローブで毎日やきものれんしゅうをがんばっています

でも、べんりんもがんばっています

もくしゅうは、なんしきボールをこわがらないことです

あそびにいった時にはやきものがうまくなつては。おたのしみ!!



僕のおばあちゃん

だいきち
小出 大伍吉 君(小2)

廣田 輝代さん 孫
(会員番号2652)



かまくらの中の大伍吉 君

7匹の子ガモちゃん 物語

宮川(国道43号南)でのカルガモ親子

山中 健 (会員番号 3278)



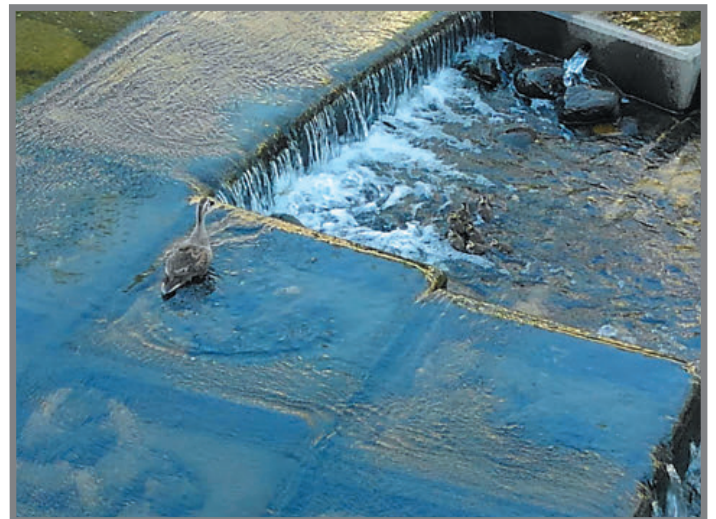
芦屋の が好き



「さあ あそぶぞ！
おかあさん こっちこっち」
「はい はい」



「遊びが済んだらトレーニングよ
ついてらっしゃい」



「さあ お母さんの所まで
上がってらっしゃい」
「そんなの むりだよ～」



3匹は上がれましたが 上がれない子ども達
はピーピー鳴いています

秋の研修バスツアー 近江路を訪ねて

11月18日（金）素晴らしい秋晴れの朝、バスはセンターを出発。バスの中では家庭内の防災についてビデオ研修があり、身近な危険に家族が気付くことの大切さがわかった。そうこうしている間に佐川美術館に到着。水木しげるの百鬼夜行展にぞくぞくし、平山郁夫の絵画には10年前に行った敦煌を思い出しウルウル。昼は近江牛「毛利志満」での牛尽くし御膳。予想を上回る美味しさに感動し、牛刺しからデザートまで完食。紅葉に包まれた百濟寺は、

山の中の歴史ある寺院で別世界のよう。庭園の池の置き石を渡るのにハラハラドキドキ。帰りのバスはビンゴゲームで盛り上がるも、くじ運の悪さを改めて実感。ドライバーさん、添乗員さん、そして企画をしてくださった委員会のみな様、楽しい時間をありがとうございました。

森 和代
(会員番号3219)



佐川美術館



近江牛
「毛利志満」



百濟寺



道の駅「あいとう
マーガレットステーション」



編集後記

明けまして おめでとうございます。

平和を願う人々の思いをよそに、昨年は戦争が始まり、そのニュースに世界中が右往左往しました。コロナ禍もまだまだ収束しそうにありません。それでも自然は時を違えることなく私たちに季節を示してくれます。

心が萎えそうになる社会的な環境にもめげず、芦屋市シルバール人材センター（会員数1184、男627・女557「令和4年11月末現在」）は、設立35周年を祝うフェスティバルを開催。沢山の人々で賑わいました。

今号は、フェスティバルの記事を中心にバスツアー、パネル展示、会員活動、寄稿等を取り上げて掲載しています。

会員の皆様に喜んでいただけるように委員一同力を尽くして編集しました。次号記事へのグッドアイデアをお待ちしています。



新編集委員
北風 文子
(会員番号2338)

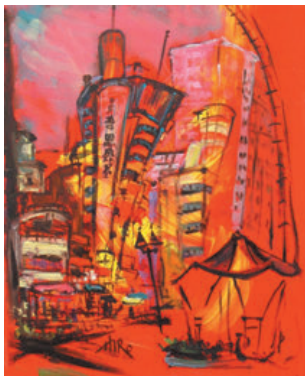
はつらつギャラリー

生きることは描くこと

小さいころから絵が好きで、父親の友人の画家が「金賞」「銀賞」「努力賞」って、三重丸を付けてくれた。それが嬉しくて… 34~35歳ごろ空手をやっていた反動から、もう絵が描きたくなくて気が付いたら44年になります。



2020最高の気分Ⅱ 『Gifted in a dream』 2020年ニューアート・ZERO展「松井正賞」受賞作品
F100×F100×F100 (162.0×390.9cm) 2020年10月 母校大阪工業大学に寄贈



笑都大阪



余呉湖の春



チューリップ交響曲



kawaiiニャン



定年退職前に血液癌で入院。定年を会社じゃなくってベットの上で迎えたんです。退院後、何か楽しいことはないかなと京都芸術大学通信教育部芸術学部 美術科洋画コース（通信と言っても通学と変わらぬしんどさ）へ入学。

卒業後に西宮美術研究所入所、6か所のクロッキーグループに所属するなどした為、2011年に疲労？で再発し1年2か月入退院、抗がん剤治療を繰り返しました。でも、楽しいです。

泉川 博之 (会員番号 3404)